

平成25年度 自己評価報告書

杵築市立（北杵築小）学校

1 昨年度の取組の成果と課題

- (1) 確かな学力・・・授業改善が進められてきたが、家庭学習（読書等「読み」）への取組が必要
- (2) 豊かな心の育成・・・挨拶等については取組が進んでいる。言葉遣いへの取組が課題。
- (3) 安全・安心な教育環境・・・家庭地域との連携を深める取組を進めることが必要。

2 今年度の目標と目標達成に向けた方策

- (1) 基礎基本の定着をはかる。(かしこく)
 - ① 定着状況調査の活用
 - ② 図書館教育の推進
 - ③ 家庭での学習習慣の定着
- (2) お互いの「よさ」を認め合う。(あかるく)
 - ① 挨拶・返事・言葉遣いへの意識向上
 - ② 生徒指導の充実
 - ③ 家庭との連携
- (3) 体力アップの取組推進(たくましく)
 - ① 体力アップへの取組
 - ② 食育の推進と生活習慣の確立
 - ③ 安全教育の推進

3 重点目標と具体的な方策

- (1) 基礎基本の定着
 - ① 授業改善の推進をする。(めあて・まとめが明確な一時間完結型授業を実施する。)
 - ② 調べ学習や読書等を通して言語感覚をみがくとともに表現力を高める。
 - ③ 家庭学習の時間を確保し定着させる。

4 自己評価結果

評価項目 (重点目標)	評価指標 (達成指標)	評価内容 (重点的取組)	取組指標	対象	参考数値	評価	成果及び達成状況	課題及び次年度への改善方策
基礎基本の定着	◎定着状況調査、学期ごとの状況調査で各学年70%達成を目指す。	○めあて、まとめが明確な一時間完結型授業の徹底。学習計画で見直しをもたせる。	○学期に2回以上の互見授業を行なう。(1回は本時案作成)	児1 児2 児3 保1 職1 職2	83 85 83 81 75 84	3	○授業改善は進められてきており課題とまとめのある授業が実施できている。	・定着状況調査等で二極化された学級状況である。それぞれに対応した取組をしていく必要がある。
	○図書館活用を推進し利用時間を増やす。	○調べ学習や読書を通して言語感覚を磨くと共に表現力を高める。	○図書館の活用を毎月4時間以上にするようにする。	児5 保3 職3	76 71 84	3	○親子読書などの取組もあつた。またブックトークの研修もでき興味も広がった。	・各々の取組に違いがあり、個々への対応の工夫が必要である。
	○家庭での学習習慣の定着(学年×10分プラスα)	○家庭学習の時間を確保し定着させる。	○家庭学習の状況を日々担任が把握する。	児4 保2 職4	90 79 81	3	○家庭での意識もあがりよく取り組むようになった。	・内容面での充実と学びに対しての意識を高めていかなければならない。
お互いのよさの認め合い	◎挨拶、返事言葉遣いの評価を学期ごとに行なう。	○児童会活動での北小5の取組から挨拶運動の実施をする。	○北小5の取組振り返りを月1回程度行なう。	児8 保5 保6 職7 職8	92 81 73 92 92	4	○児童会とも協力しての取組ができた。一覧掲示をすることで意欲的になった。	・内容の継続で定着をはかっていく。
	○生徒指導を充実させ互いのよさの認識と自信をつける。	○全職員で共通理解し同じ方向で声かけをする。	○週1回以上の情報交換により取組のよい子や弱い子へ全員で声かけを行なう。	児9 職9	85 92	4	○全職員での同一方向での声かけができ、早め早めの対応で安心できる状況がつけられた。	・継続していく。
	○家庭との連携により場にふさわしい態度を身につける。	○家庭との連携により場にふさわしい表現ができるようにする。	○学級・学校だよりなどで月1度以上は認め合える状況を発信する	児10 保7 保11 職15 職16	82 84 83 92 86	4	○個々への対応を図り連携を深めていくことができた。	・今後とも個別の対応を工夫していかなければならない。
体力アップの取組	◎体力テストの活用しめあてをもって運動に取り組む	○目標をもち運動に取り組む姿勢を身につける。	○県平均の提示と学期一回程度の伸び調査	児11 保8 職10	88 85 83	3	○50m走や持久走に取組み続けることができた。	・目標達成が見えるようにすることで今後も継続が必要である。
	○食育の推進と生活習慣の確立	○早寝早起き朝ごはんを基本に定着をはかる。	○学年に応じた食育指導の実施(年1回以上)	児12 児14 保12 職11	88 84 85 83	3	○食への関心は高まってきたが、実践が伴わないことも多かった。	・家庭との連携、地域との連携を図り、充実しなければならない。
	○安全への意識を高める	○児童が外での活動を楽しむようにする。	○月1回以上の遊具点検と遊び方指導の実施	保16 職12	81 83	4	○学年を越え活動する姿がよく見られた。	・適宜指導を継続する。